

7月6日から10日までの5日間、市教育委員会と交流事業に関する協定を結ぶ中国の深圳外国語学校から、張伝平副校長を団長に中学3年生10名の生徒らが飯山を訪れました。同交流は16年目を迎え、隔年で訪問と受入の交流を行っています。



1日目と2日目、各学校で歓迎を受けた深圳外国語学校の生徒は、各クラスに別れ飯山の中学生と一緒に授業を受けました。中国の中でも成績優秀な生徒が通う学校であるため、数学や英語の授業は比較的簡単に理解できたようです。

給食後、中国にはない清掃を体験した生徒たち。「無言清掃」は衝撃的だったことでしょう。

3日目は、飯山城跡見学や正受庵での茶道体験などを、4日目は、斑尾高原でトレッキングやジップラインを楽しみました。

生徒たちは城南中・城北中学校の生徒の家庭にホームステイをしました。受入れ家庭の緊張した表情も、生徒たちが飯山を発つときには、再会を願う涙となりました。

短い期間の飯山滞在でしたが、普段経験できない交流を通して、深圳・飯山両学校の子ども達は、充実した時間を過ごせたと思います。



保育園・学校課題検討委員会開催

市教育委員会では、市立保育園及び市立小中学校の適正な保育環境及び教育環境のあり方を検討するため、飯山市保育園・学校課題検討委員会を設置し、第1回目の会議を7月28日に市役所で開催しました。

男女共同参画週間講演会
いやま女性センター未来文化講演会開催

6月24日、市民館講堂において、落語家の林家花丸さんを講師に『男女共同参画』前向きにまろく考える』と題して講演会が開催されました。要旨をお知らせします。

軽快なお囃子で登場した花丸さん。「ずっと小さいころからこの(飯山の)舞台上立つのが夢でした。」などと冗談を飛ばし、ダジャレや小話などで観客の心をつかみ、笑いの渦に巻き込みます。そして、後半では「金明竹」という落語をご披露くださいました。見せ場は上方者の非常に難解なセリフですが、滑らかに



林家花丸さん

明朗な発話はよどみなく、4回も早口言葉のように繰り返す様子は圧巻で会場からは拍手が沸き起こり、さすがはプロの芸と感心させられました。

男女共同参画とは「四角四面の世の中に男女共同参画について前向きに丸く考えると難しい話どころかきつと生活の栄養になる、とてもおいしいお話です。」男女共同参画社会とは「男女の性の差によることなく、それぞれが持っている個性・能力というもの

する者として、前飯山市公民館長服部秀人氏が選出されました。

少子化が進み、教育環境が厳しくなる状況の中、保育園や学校の様々な課題について、現状をしっかりと把握し、子供たちの将来を考えていく予定です。

を互いに認め合い、大いに発揮できる明るい世の中を創っていくというものです。「あなたらしさを大切にしていきたいと思います」といふことなんです。

花丸さん自身、内弟子時代に師匠宅で家事全般を任せられた経験したことや、落語家同士の上下関係に男女の差がなく年功を大切にしていることを挙げ、「300年以上前の寄席や落語の世界では男女共同参画の意識があったということなんです。」と語りました。

「男女共同参画とは人間としての思いやりの話であり、人が人を思いやるという当たり前のことです。やがてそれが広まれば文化になります。」

永年の活動に感謝 平成29年度飯山市青少年育成市民会議

飯山市青少年育成市民会議では、青少年の育成に貢献された個人や団体、顕著な善行を行った青少年を表彰しています。6月9日、市役所で表彰式が行われ、個人3名および1団体に市長から表彰状が贈られました。青少年の健全育成に永年にわたって尽力された功績をたたえと共に、受賞された皆さまの今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



前列左側から江口正広様、小坂啓二様、佐々木昭吾様、上倉子ども会育成会代表 小島敬様です。

■江口 正広 様

平成18年の福寿町区育成会長就任より現在まで、飯山地区子ども会育成連絡協議会役員として活動に励み、自らが企画した「まちなかウォークラリー」を大きなイベントに育てるなど、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

■小坂 啓二 様

常盤小スキークラブのコーチとして長年にわたり指導を続け、ジュニアスキーの技術向上に尽力。また選手だけでなく現在活躍中の多くの指導者も育てるなど、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

■佐々木 昭吾 様

長年にわたり少年野球の指導者として尽力後、平成17年からは連盟会長や審判員として少年野球の普及および審判技術の向上にも取り組むなど、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

■上倉子ども会育成会 様

16年続けている「さかなつかみ大会」において、子どもたちに命や協働の大切さ、リーダーとしての役割・地域活動に自発的に参加する土壌を作るなど、青少年の健全育成に多大な貢献をされました。

暑い日も賑やかに水遊び

あきは保育園は、夏の暑い日ざしの中、水遊びの子ども達の歓声で賑やかです。水遊びの前後には夏野菜や昆虫の観察、色水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しんでいます。



2歳児クラスでは、絵本「いろいろのさかな」をもとに、ごっこ遊びをしています。おさかなになって、かくれんぼや追いかけて、魚釣りなど保育士や友だちとイメージを共有しながら遊び、「見て〜!」と手作りの魚やタコを指差す嬉しそうな表情や笑顔から、楽しい思いが伝わります。



「すべての人は かけがえないひとりです」

飯山市民生児童委員協議会 会長 池田 澄子

人は人として、それぞれの父母を通してこの地上に生まれてきた存在です。しかも、この世界全人類の歴史の中で、たったひとりしかない「固有の存在」です。そのことがどれ程の意味と価値を持っているかは、推しはかれません。すべての国民は基本的な人権を有する者として、幸せを追求する自由について保障されています。自分が自分であることを認識し、ありのままの人生を生きることは重要なことです。

しかし、口で語るほど容易なことではありません。それは、人は一人では生きていけない、集団として、社会の一員として暮らしてゆく存在でもあるからです。自分がオリジナリな存在(個)であると同じように、自分を取り巻くすべての人も、それぞれオリジナリな存在(個)であることを本当に理解できると、比較的、他者を他者として受け入れることができるように思います。

今年7月9日に、日本の民生委員制度100周年の記念大会が東京ビックサイトで開催され